

## 学術集会 ご案内



会長

### 村上 節

滋賀医科大学  
産科学婦人科学  
講座教授

## 第28回 日本生殖内分泌学会学術集会を控えて

新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが5類に移行されたのを受けて、学術集会もオンラインに戻りつつあります。と言っても新型コロナウイルスが消滅したわけではなく、本来風邪のウイルスですので、寒くなる前にと考え、第28回日本生殖内分泌学会学術集会は例年より少し早い11月18・19日の2日間で開催させていただくことにいたしました。日程を決めたときには他の関連学会と被らないように努めたのですが、日本比較内分泌学会と重なってしまったようで、皆様にはご迷惑をおかけすることをお詫び申し上げます。

さて最近、とくに臨床科におきましては、学位よりも専門医志向が強く、来年に控える医師の働き方改革も相まって、研究に身を投じる若者が減ることを危惧しています。そこで、今回のテーマは『好奇心・関心・探究心』と銘打ち、研究する『ところ』に響くプログラムを立案しました。

概要をご紹介しますと、まず特集として、各領域のメンター（岡山大学総合内科の大塚文男 教授、山口大学泌尿器科の白石晃司 教授ほか若手2名）から研究の面白さをお話いただきます。

そのほかに、教育講演として、発見から20年を経過したキスペプチンをこの領域の第一人者である名古屋大学農学部 東村博子 先生の教室から井上直子 准教授にお願いしました。この講演は、日本内分泌学会の専門医認定更新単位付与の指定講演に申請いたします。もうひとつの教育講演は、滋賀医科大学の動物生命科学研究センターで霊長類の胎盤を研究している新進気鋭の武藤真長 先生にお願いしております。また、招請講演は、脳を支配し男性ホルモンにも関わるとも言われるトキソプラズマ感染症の研究でご高名の帯広畜産大学の西川善文 教授にお願いし、この講演は日本専門医機構の共通講習として申請いたします。特別講演では大阪大学産婦人科の木村正 教授に社会的にも関心が高まっているトランスジェンダーの話題を提供していただきます。そのほかにも、魅力的なスポンサーセミナーも取りそろえました。

これらのプログラムは、後日オンデマンド配信でもご覧いただけますが、受講単位の履修は現地のみとなります。ぜひ、琵琶湖のほとりに足をお運びいただき、生の講演をお楽しみいただきたいと思います。

今回の学術集会が、皆様の研究する『ところ』の琴線に触れることを心より願っております。

会 期：2023年11月18日（土）、19日（日）  
会 場：大津市民会館・大津公民館  
テーマ：好奇心・関心・探究心  
事務局：滋賀医科大学産科学婦人科学講座  
TEL：077-548-2267 FAX：077-548-2406  
E-mail：28jsre@belle.shiga-med.ac.jp

第28回日本生殖内分泌学会学術集会 会長  
村上 節  
滋賀医科大学産科学婦人科学講座